

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	老人福祉センター 倉敷市まきび荘
(2) 指定管理者	所在地 倉敷市笹沖180 名称 社会福祉法人倉敷市総合福祉事業団 代表者 理事長 山崎 要
(3) 公の施設の所管部署	健康福祉部健康長寿課
(4) 評価対象期間	平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

2 総合評価結果

(1) 市の評価	<p>・令和2年2月10日に実施した立入監査の結果、良好な管理運営がなされていることが確認できた。</p> <p>・令和2年3月に実施したアンケート調査の結果、現行の指定管理者は、利用者から好感を持って受け入れられていることが確認できた。</p> <p>・今年度重視して評価を行った「利用者満足度向上」については、日常的な利用者への接遇向上に取り組むとともに老人クラブ連携事業（いきいき体操等）や自主講座（新規講座：百歳体操）の拡充に努めており評価できる。</p> <p>・以上の点から、評価対象期間において、社会福祉法人倉敷市総合福祉事業団は適切に指定管理業務を遂行したと判断する。</p>	総合評価
		S
(2) 指定管理者の自己評価	<p>地域の高齢者に対し、各種の相談に応じるとともに、学ぶ意欲に応じるための様々な講座の開講、併せて、創作を楽しむ場を提供しました。</p> <p>各種相談事業（健康相談・血圧測定・機能回復訓練等）では、看護師による指導・助言を行うとともに、歌唱指導や健康体操を取り上げるなど利用者の健康維持に努めるとともに、教養の向上に関する事業では従来の既存の講座に加え、茶道教室の新設や気功等高齢者にふさわしい独自の活動に取り組みました。</p>	

	<p>次に、レクリエーション等の事業では、七夕会・クリスマス会・節分会・ひな祭り等開催し、利用者に季節や郷愁を感じてもらいました。また、老人クラブとの共同剪定作業、地元婦人部との交流会を持つなど幅広い活動を行いました。</p> <p>さらに、全天候型の充実したゲートボール場の施設を利用して、ゲートボール及びグラウンドゴルフを大会前の練習を年間5回実施しました。</p> <p>なお、豪雨で被災した真備健康福祉館の仮事務所が、4月1日から当館の会議室に設置され、10月まで運動教室等の事業を実施しました。</p> <p>最後に、利用者数についてですが、これまでの利用者の多くがみなし住宅や仮設住宅に転居して来館しにくい状況になったにもかかわらず、前年度対比で約17%の増となりました。</p> <p>今後は、少しでも多くの方々が明るく生きがいをもった生活がおくれるよう、利用者のニーズに沿った事業やサービスの充実に努めてまいります。</p>
(3) アンケート結果の概要	<p>アンケート調査の結果、利用者の満足度は、施設全体は100%、職員対応は100%、施設の衛生管理は100%、安全対策は96%以上となった。よって、現在の指定管理者は、多くの利用者から好感を持って受け入れられていることが分かった。</p>

2 施設の利用状況

(1) 利用者数	利用者数		特記事項
	今年度	前年度	
	17,253人	8,696人	

(2) 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> (1) センターの使用許可に関する事務 (2) センターの維持管理に関する業務 (3) 高齢者の生活, 住宅, 身上等に関する相談ならびに指導業務 (4) 高齢者の疾病の予防, 治療に関する相談ならびに指導業務 (5) 高齢者の生業および就労等の指導業務 (6) 高齢者の後退機能の回復訓練ならびに指導業務 (7) 高齢者の教養の向上およびレクリエーション等の事業 (8) センターの利用者の利便性を向上させるために必要な業務
-----------	--

3 収支（見込み）

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	18,148千円
	市からの指定管理料	18,145千円
	その他の収入	3千円

(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	17,647千円	
	主な支出	人件費	11,393千円
		光熱水費	1,676千円
		修繕料	75千円
		業務委託費	486千円
		その他	4,017千円